

ベネフィットに関する取り組み

	取扱いテーマ	主な課題	取り組み概要・方針等
1	持続可能な事業ポートフォリオの構築	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の位置づけと役割の明確化 想定収益、成長余地の検討 不足する経営資源の把握、強化 	<p>加速する社会情勢、経営環境の変化を踏まえ、下記取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続的な成長を達成するため、戸田グループの強み、将来のあるべき姿、挑戦すべき分野を定義づけ、それを基に現時点での各事業部門の最適な事業ポートフォリオを描く。これらは継続的に見直しを実施し、同時に各事業部門のB Sの在り方、達成すべき経営指標の検討も行う。 不足する経営資源を明確化し、外部リソースの活用（M & A、他産業とのコラボ、アウトソーシング等）を含めた獲得手段を検討し、社内の事業部門を超えた経営資源の活用を実施する。
2	事業変革と新しいビジネスモデルの推進	<ul style="list-style-type: none"> 無形資産向上戦略の検討 社内の事業領域を超えた共創によるライフサイクル／フルターンキー事業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 人的資本と実績を裏付けとした設計力・施工力・技術力にデジタルの力を加え、これらの無形資産の強化に注力し、総合的ブランド価値の向上を図る。 上記の成果の一つであるデジタルデータを活用し、生産性の向上や、新規サービス等による脱請負的事業を創出する。 具体的な事業（建設ライフサイクル全体での価値創出、まちづくり等において川上から川下までを一気通貫で整備する地域創生事業等）の実践を通じ、新しいビジネスモデルを構築する。
3	CX150実現に向けた経営資源の強化	<ul style="list-style-type: none"> 体験価値実現に向けた技術・DX・人財戦略の策定 各戦略のリレーションの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 保有技術の棚卸しとともに、市場ニーズの俯瞰（マーケティング）を通じ、今後強化すべき「提供価値・ソリューション（体験価値）」を具体化し技術戦略を構築する。これによって技術開発投資、社内外連携・アライアンス等を効果的に推進していく。 上記を実現するために必要とされるデジタル技術（DX）、人財要件（採用・育成）を再検証し、各機能戦略のリレーションを確立する。2か所